

令和7年3月21日

令和6年度 特別の教育課程の実施状況等について

沖縄県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
金武町立金武小学校（外2校）	金武町教育委員会	公立

1. 特別の教育課程を編成・実施している学校及び自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の 公表ウェブサイト名・URL 等	学校関係者評価結果の 公表ウェブサイト名・URL 等
金武町立 金武小学校	金武町立金武小学校ウェブサイト 令和6年度特別の教育課程の自己評価結果について http://kin-ed.sakura.ne.jp/kinshou/ks_syokai/ks-english-01.html	金武町立金武小学校ウェブサイト 令和6年度特別の教育課程の学校関係者評価結果について http://kin-ed.sakura.ne.jp/kinshou/ks_syokai/ks-english-02.html
金武町立 中川小学校	金武町立中川小学校ウェブサイト 令和6年度特別の教育課程の自己評価結果について http://kin-ed.sakura.ne.jp/kiraring/kn_syokai/kn-english-01.html	金武町立中川小学校ウェブサイト 令和6年度特別の教育課程の学校関係者評価結果について http://kin-ed.sakura.ne.jp/kiraring/kn_syokai/kn-english-02.html
金武町立 嘉芸小学校	金武町立嘉芸小学校ウェブサイト 令和6年度特別の教育課程の自己評価結果について http://kin-ed.sakura.ne.jp/kagei/kg_syokai/kg-english-01.html	金武町立嘉芸小学校ウェブサイト 令和6年度特別の教育課程の学校関係者評価結果について http://kin-ed.sakura.ne.jp/kagei/kg_syokai/kg-english-02.html

※8月末までに上記 URL において公開

2. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

これからの時代において必須となるグローバルな視野を持った人材を育成するため、1～4学年に「英語活動」を設置し、「外国語活動」と合わせて年間34～50時間を英語教育に充てる。

- ・小学校1学年において、音楽を11時間、図画工作を11時間、体育を12時間削減し、34時間の「英語活動」を設置する。
- ・小学校2学年において、音楽を10時間、図画工作を10時間、体育を15時間削減し、35時間の「英語活動」を設置する。
- ・小学校3～4学年において、総合的な学習の時間を15時間削減し、外国語活動とあわせて、3・4年生で50時間の「英語活動」を設置する。

※教育課程全体は【別表1】の教育課程編成表を参照

(2) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

金武町は、明治・大正時代、當山久三翁に代表されるように、ハワイをはじめ北米・フィリピン・中南米への海外移民の先駆をなし、現在多くの方々が現地で活躍している。そのような歴史的背景から海外移住者子弟等の受け入れ事業、ハワイ州カポレイミドルスクール姉妹校交流事業、ハワイ短期留学派遣事業、海外ホームステイ派遣事業等の国際交流事業が行われてきた。

金武町は、リゾート施設・医療施設・リハビリ施設等の一体型施設が着実に建設されていくことから、英語を使える人材の育成が望まれている。よって、平成27年度以降、小中が連携した系統的・段階的な英語活動(英会話科)の推進で、本町の掲げる「国際性に富んだ人材育成」を図っている。

(3) 特例の適用開始日

平成27年4月1日

平成30年4月1日 変更

令和2年4月1日 変更

(4) 取組の期間

令和7年3月31日まで

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- ☒ 計画通り実施できている
- ☐ 一部、計画通り実施できていない
- ☐ ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

※(1)で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- ☒ 実施している
- ☐ 実施していない

<特記事項>

4. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している学校の教育目標との関係

本特例は、金武町の立地や生活環境を鑑み、英語を使える人材の育成が望まれている背景から、小中が連携した系統的・段階的な英語活動（中学校は英語科）の推進により、本町の掲げる「国際性に富んだ人材育成」を図ることを目指して、小学1年生から英語活動を行っている。

町独自で行っている児童アンケートを見ると、どの学年も友達と楽しみながら英語活動を行っていることが伺える。問2「どんなことが楽しいか」の回答で、②『英語のゲーム』の割合が学年が上がるにつれて高くなっている。これは、『英語のゲーム』が既習の英語を使ったり、新しい英語を定着させるためのクイズなどを作ったりしているので、児童の学年が上がるほど興味がわき、達成感があるからではないかと考える。また、⑥『友だちと英語で話せる』の割合が4年生で一番高いこと、問3「英語の授業で友達と楽しむことができる」、問5「英語であいさつができる」が高い割合を示していることから、ゲーム等の楽しい活動だけでなく、英語でのコミュニケーションに意欲を示しているということがわかる。また、問9「英語を使って外国の人と話してみたい」、問10「英語を勉強することは大切だと思う」の割合は、全学年で高い割合を示しており児童が英語の授業を前向きにとらえていると考える。

一方、問7「英語の授業で、先生や友達に英語を使って話しかけたりしている」、問8「授業以外で、英語の先生に英語であいさつしたり、話しかけたりする」の割合が幾分小さくなっていることについては、廊下などで児童に英語であいさつしたり声をかけるなど教師側の工夫も求められていると言えよう。

1学年がほぼ全部の質問に高い割合を示している。初めて英語を学ぶ1年生が英語を好きになってくれると授業も楽しくなりやる気が出てくるものと期待できる。そのためには、授業内容の充実と先生方とALT・JTEとのチームティーチングの充実を高める工夫が必要になってくる。

【別表2】

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

本特例を実施している町内3小学校においては、生徒指導及び特別支援教育の面で長年の課題がある。それに伴い、教科全般の学力についても課題が大きい。全国学力・学習状況調査についても、全国平均を下回り、県や地区の平均も下回っている。

しかしながら、平成27年度から継続して英語活動に取り組んできた児童は、英語に対する意識において成果が上がっている。【別表2】

また、令和5年度の「全国学力・学習調査」の設問、Q7 外国人の人と友だちになったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか。Q8 日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか。Q9 将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか。に対して金武町の小学生および中学生は、「思う」「どちらかといえば思う」が全国平均を上回っている。

5. 課題の改善のための取組の方向性

4に示したことを踏まえて、成果・課題・今後の方向性を以下に記す。

(1) 成果

- ・児童のほぼ9割が英語の授業を楽しんでいる。
- ・年度を追う毎に英語を使うことへの抵抗感が少なくなっている。
- ・保護者の英語教育に対する評価は高く、今後も取組を継続してほしいという意見が多い。
- ・英語活動及び外国語の互見授業を合計4回実施することができ、小学校と中学校の教諭及びALT・JTEがお互いの授業を見学することで理解を深めることができた。
- ・今年度は、金武町海外移住者子弟等研修生との交流は金武小学校のみで行った。他の2校は町内のALT・JTEの先生方が小学校に来て国際文化交流を実施した。インド、フィリピン、アメリカ、オーストラリアなどの文化を紹介してもらい、児童も日本や地域の文化等を調べ発表するなど良い交流ができ、外国に興味・関心を示す児童も出てきた。
- ・「教育課程特例校」の取り組みの内容ではないが、児童の中から受験を希望する者が出てきたので今年度から小学校5・6年生を対象に英検5級を実施した。町内3小学校から25名受験し18名合格した。「教育課程特例校」で英語を継続して学習してきて、英語に対する意欲が高まったものと捉えることができる。

(2) 課題

- ・担任主導の授業法の推進
- ・チームティーチングの充実
- ・カリキュラムの見直し及び内容充実

(3) 今後の取組の方向性

- ・互見授業を通じた授業改善
- ・スモールトークの充実
- ・担任とALT・JTEとの打合せ時間の確保
- ・外国人との交流の推進・内容充実

6. 資料

- (1) 教育課程特例校に関する教育課程編成表 【別表1】
- (2) 令和6年度教育課程特例校に関するアンケート(1年～4年)【別表2】
- (3) 令和6年度教育課程特例校に関するアンケート(教師)【別表3】
- (4) 令和6年度教育課程特例校に関するアンケート(保護者)【別表4】

【別表 1】 教育課程特例校に関する教育課程編成表

1. 金武町立全小学校

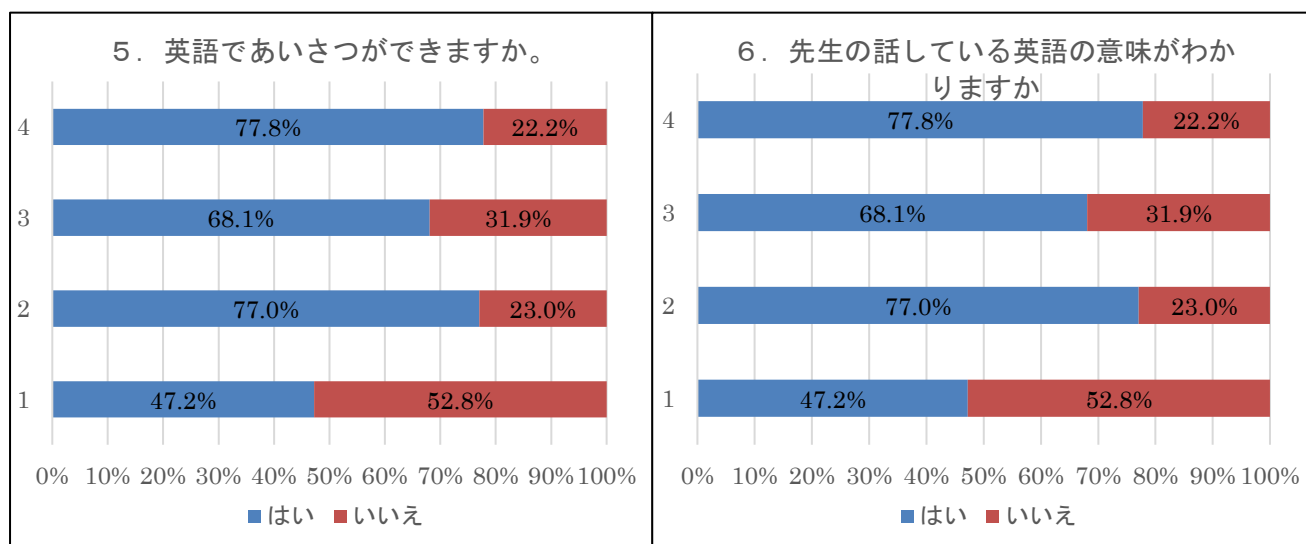
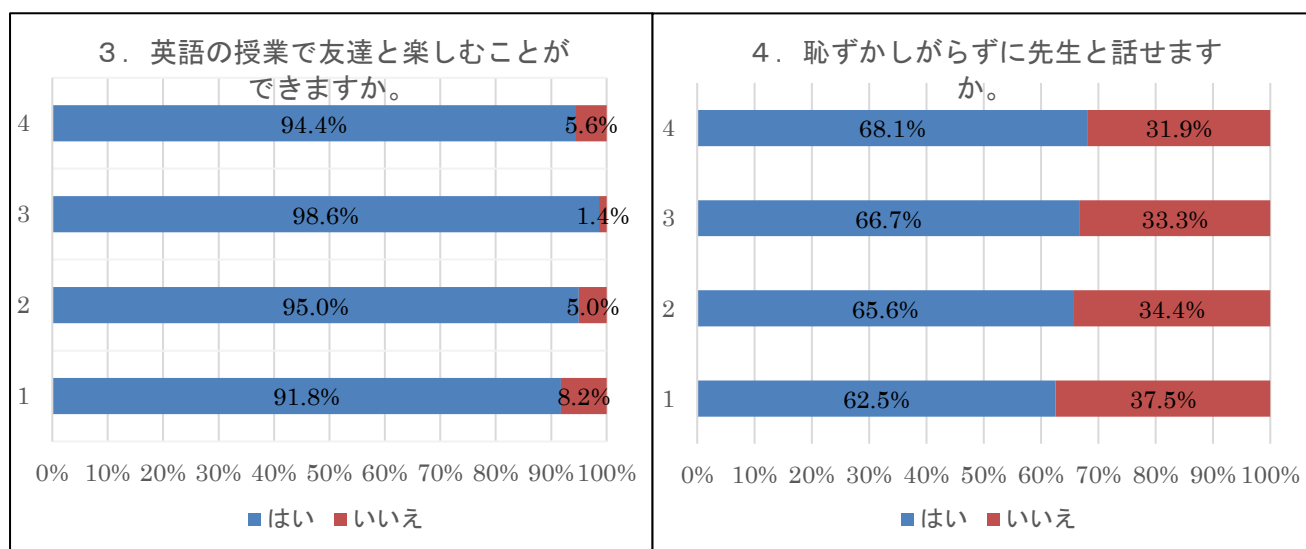
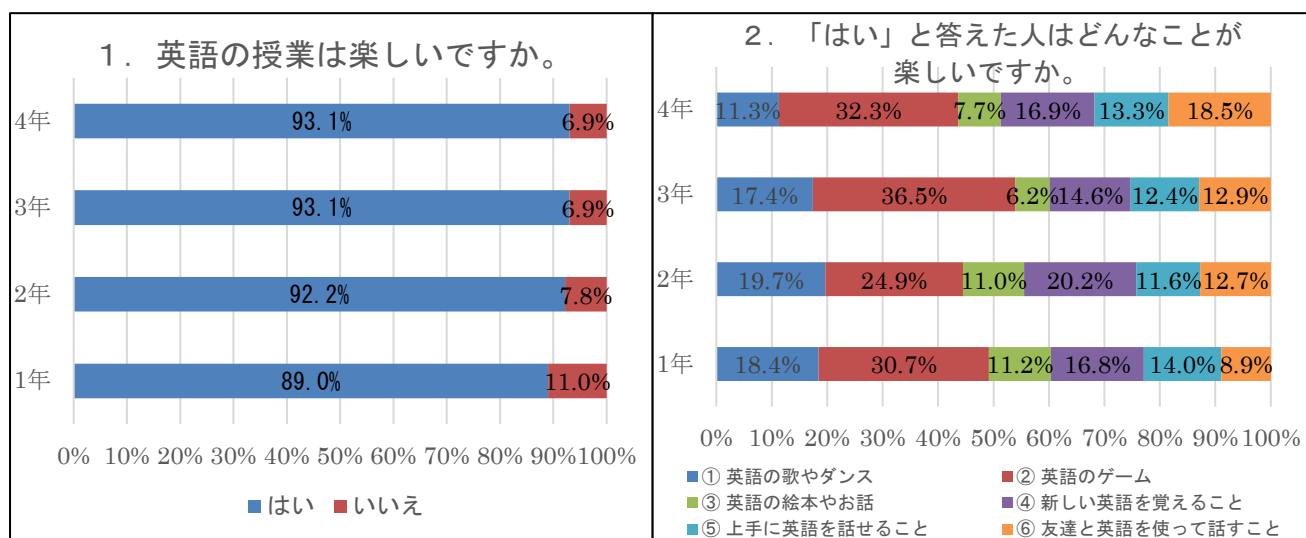
区分	各教科の授業時数									道徳の授業数	特別活動の授業時数	総合的な学習の時間の授業数	外国語活動・外国語科の授業時数	特例校英語活動の授業時数	総授業数
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育						
第1学年	306		136		102	57 (-11)	57 (-11)		90 (-12)	34	34			34 (+34)	850
第2学年	315		175		105	60 (-10)	60 (-10)		90 (-15)	35	35			35 (+35)	910
第3学年	245	70	175	90		60	60		105	35	35	55 (-15)	35	15	980
第4学年	245	90	175	105		60	60		105	35	35	55 (-15)	35	15	1015
第5学年	175	100	175	105		50	50	60	90	35	35	70	70		1015
第6学年	175	105	175	105		50	50	55	90	35	35	70	70		1015
合計	1461	365	1011	405	207	337 (-21)	337 (-21)	115	570 (-27)	209	209	250 (-30)	210	99	5785

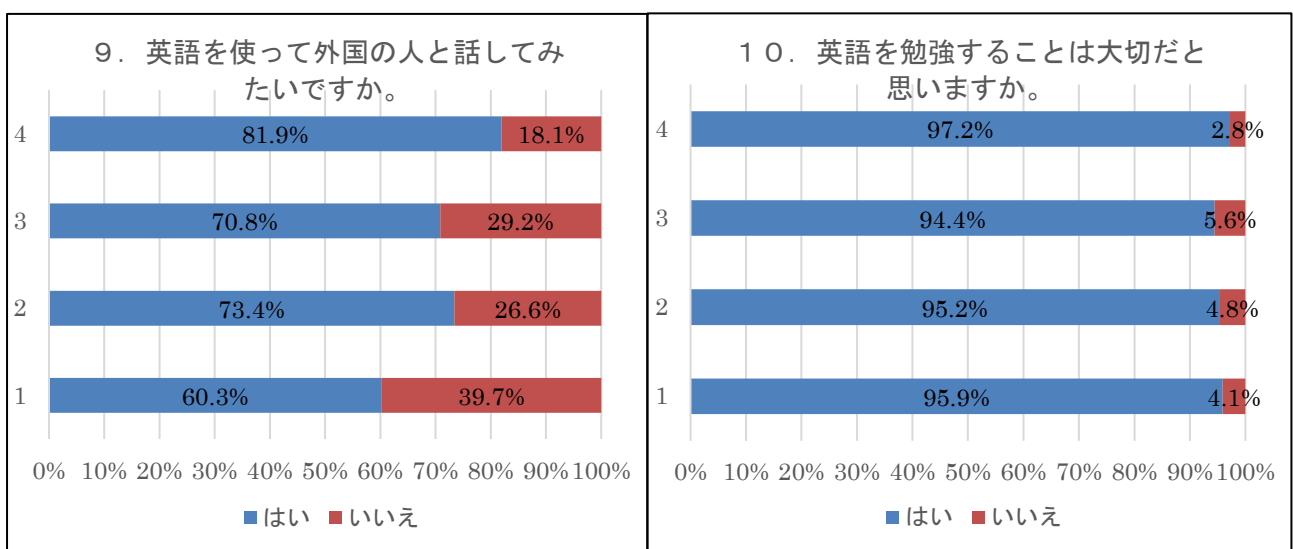
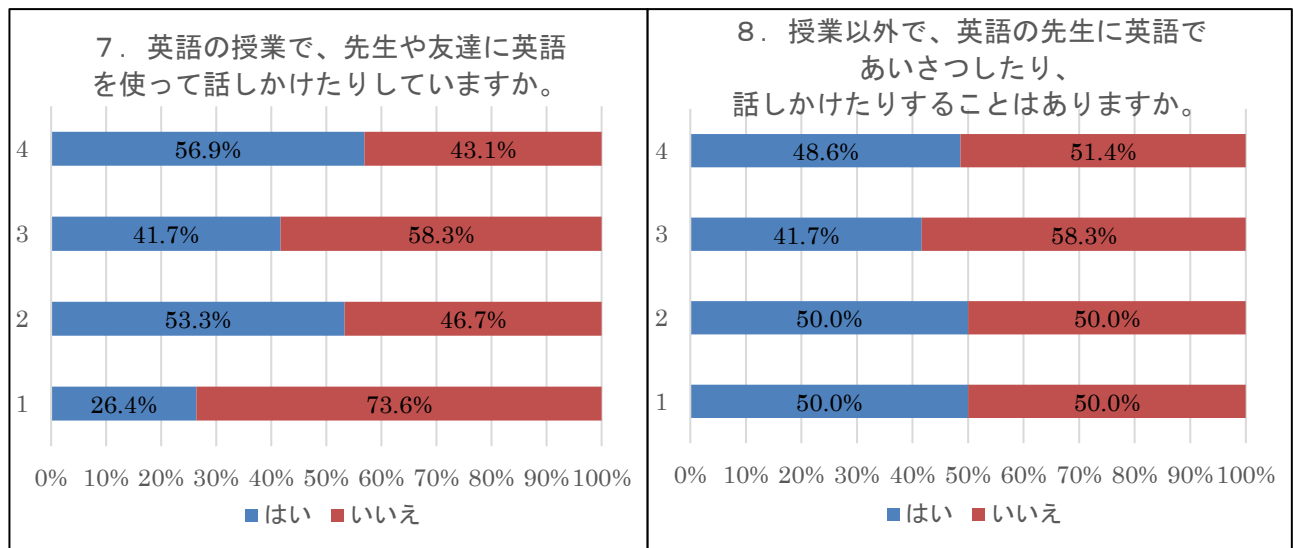
※ 第3学年～第4学年においては、「総合的な学習の時間」15時間を削除する。

※ 標準授業時数と異なる授業時数を設定する教科等については、標準授業時数からの増減を（ ）で記入し、網掛けにて表記。

【別表 2】

令和 6 年度 教育課程特例校に関するアンケート（1 年～4 年） 集計表 町全体



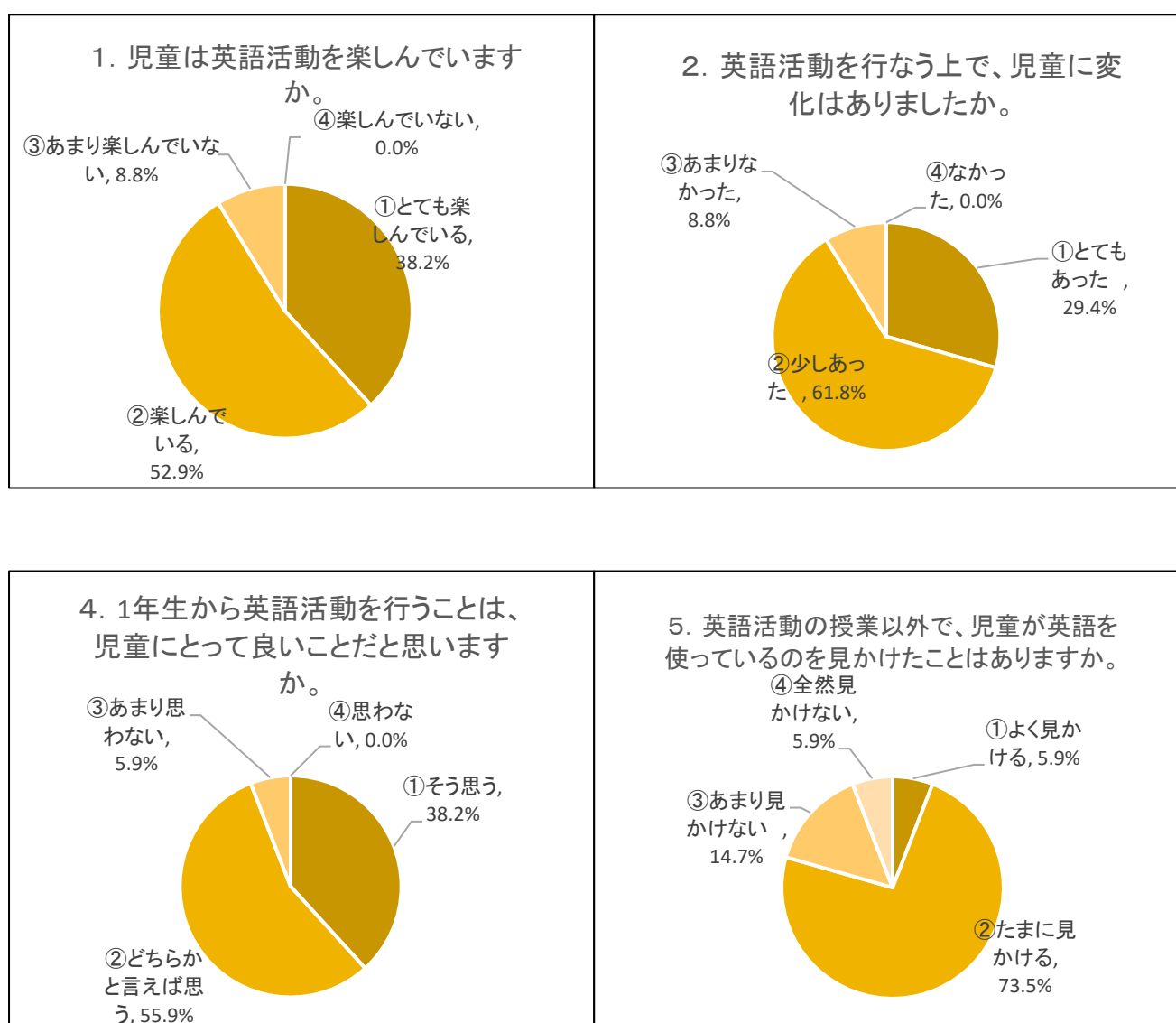


児童(1～4年)へ行ったアンケートには、下記のような感想がよせられた。(抜粋)

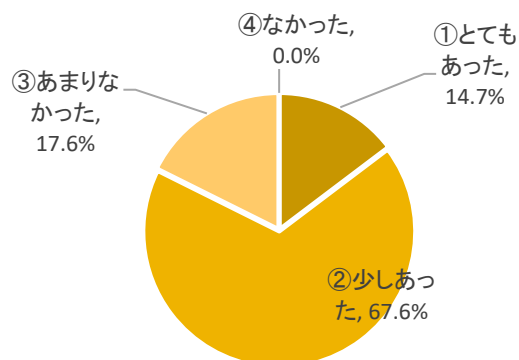
- ★「英語を勉強することは大切だと思いますか。なぜそう思いますか。」の問いに対して
- ・外国に行ったとき、英語が話せるといいし、困ったときに英語で質問できるから。
 - ・外国の人と英語でいろいろな話をしたいからです。
 - ・英語のべんきょうはたいせつだとおもうから。
 - ・空手でアメリカに行くかもしれないから。
 - ・小学生で自分たちのクラスに外人さんが来たら英語が話せたら仲良くなったりしたり英語の先生と一緒に英語で喋れるからです。
 - ・将来英語がペラペラだと、外国人の人とも話せるし、日本語以外のことも学べるからです。
 - ・英語は世界の共通語だから。

- ・英検を受ける人もいるし受験でもでるところがあるし将来話せるほうがいいから。
- ・将来英語を知っていたほうが役に立つと思っているから。
- ・いろいろな国のひとたちと話せるようになりたいからです。それと交流会を深めることもできるし、いろいろな英語がしゃべれるようになれるからです。

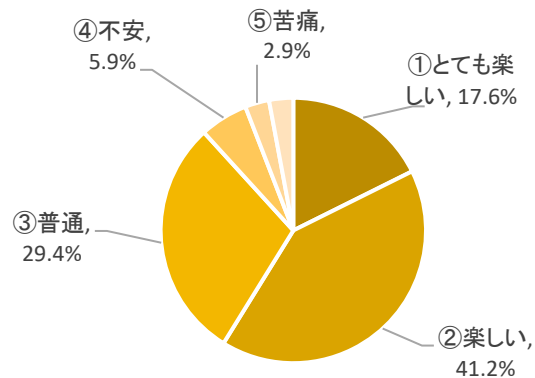
【別表 3】令和 6 年度教育課程特例校に関するアンケート（教師）町全体



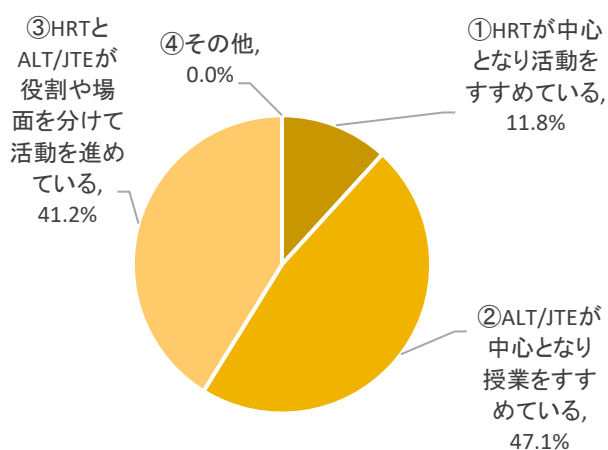
6. 英語活動を行うことで、先生自身に変化はありましたか。



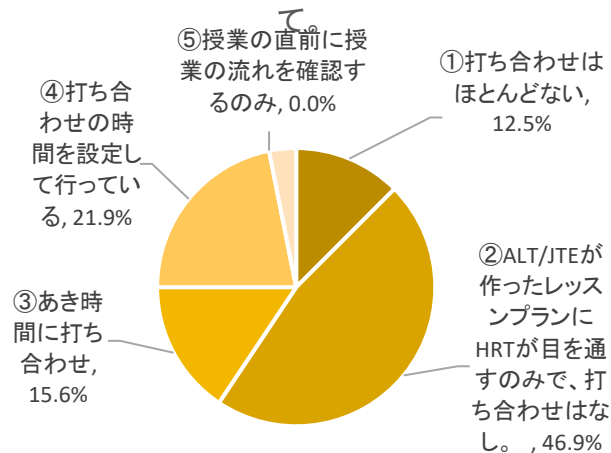
8. 英語活動の授業を行うことをどのように感じていますか。



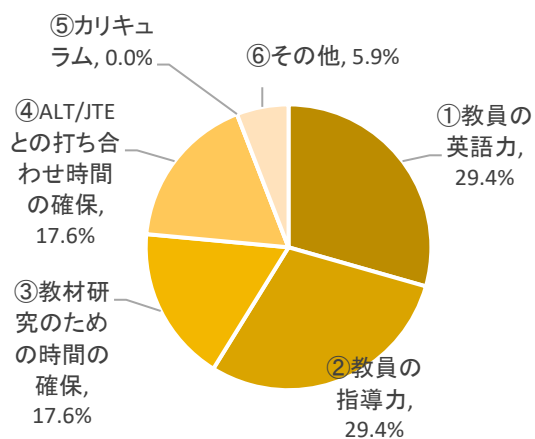
10. TTについて1番近いもの。



11. ALT・JTEとの打ち合わせについて



12. 英語活動を実施する上で課題だと感じていることは何ですか。

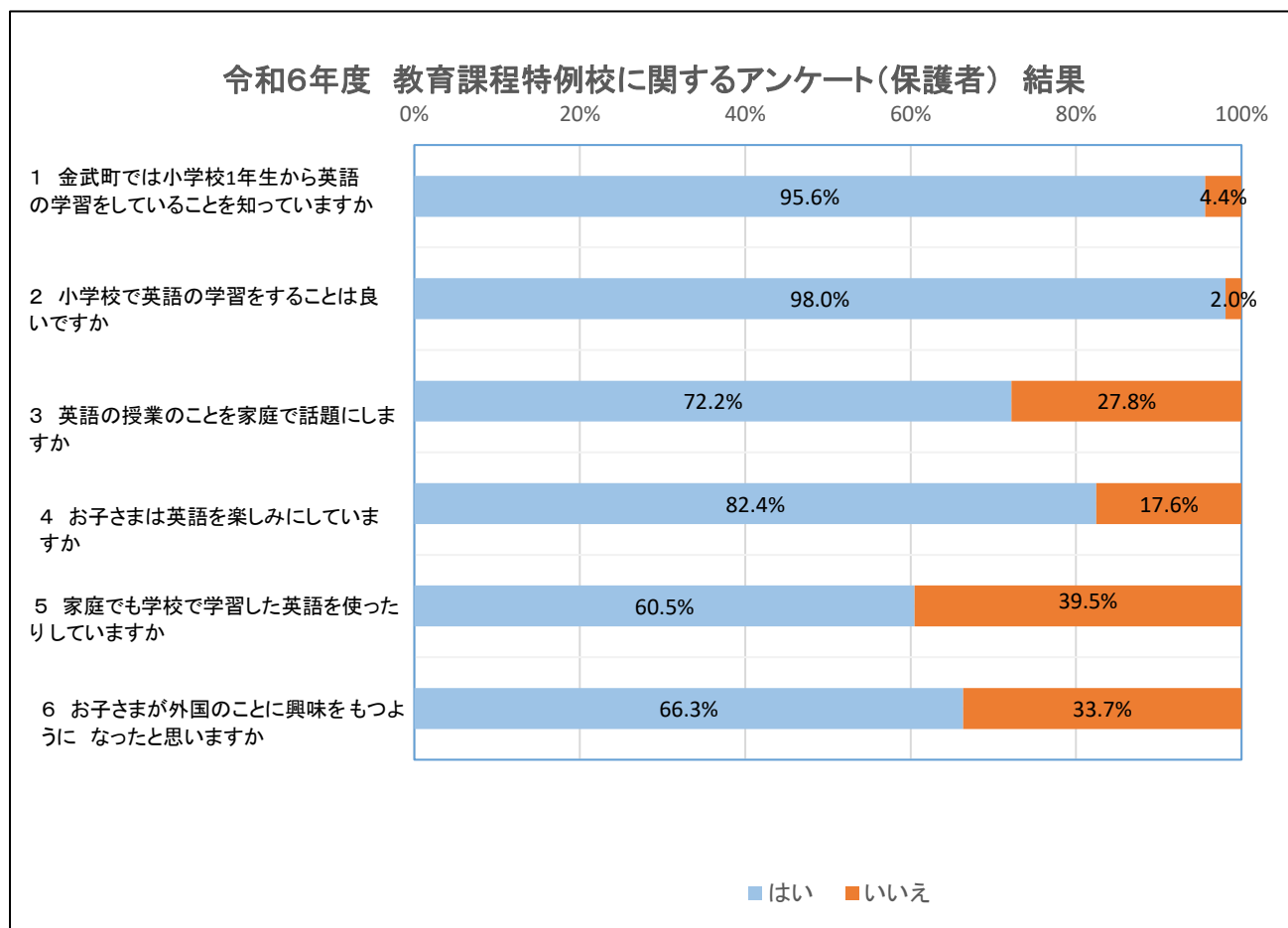


教師へ行ったアンケートには、下記のような感想が寄せられた。（抜粋）

★「英語活動」を行う上で、児童に変化はありましたか。の問いに対して

- ・ 普段発表しない子も意欲的に活動に参加し、みんなの前で発表することができた。
- ・ 日常でも英語を耳にするようになった。
- ・ 1 学習した英語を使い、自信を持って話す児童の姿が見られた。2 休み時間も英語ルームを利用し、ALTやJETとの交流を楽しむ様子が見られる。
- ・ 英語への興味が高まっていることや、他国へ関心も持てるようになった。
- ・ 英語に対する不安が減り、リスニングに関しては力がついていると思う。
- ・ 英語の発音をよく聞くようになった。身の回りにある英語を読んだり、意味を調べたり、理解したりするようになった。
- ・ 教室の名前や文房具、天気等を英語以外の時間で使う声が聞こえる
- ・ 英語を使ったゲームを通して、単語や会話の仕方が分かるようになってきているようです。
- ・ 支援を要する子が、楽しみに参加。進んで発表したり友達とコミュニケーションとったり、英語の時間を楽しみにしている。

【別表 4】 令和 6 年度 教育課程特例校に関するアンケート（保護者）町全体



保護者へ行ったアンケートには、下記のような感想が寄せられた。（抜粋）

- ・今以上に、英語の授業を取り入れてほしい。
- ・小学校からの取りくみは良いことだと思います。兄弟でその発音は違うのではと話すこともあり、単語を耳にする事で覚えていくのではないかと思います。
- ・学校での英語授業を通して英語や外国に興味を持つ機会が増えた。またまちなか留学などにも興味を持つことができるようになったと思います。
- ・英検ジュニアだけでなく、高学年は、英検も受験できるようになってよかった。
- ・楽しみながら英語を学んでいるようなので、今後も英語に興味を持つような取り組みを学校全体で行ってほしい。
- ・母国語もまともにわからないのに、1年生から英語を教えるのは早すぎると思う。
- ・低学年から英語が学べる環境は素晴らしいと思います。
- ・基地内のフェスティバルに行ったとき、アメリカ人の店員さんを相手に自ら声を掛け、注文をしたり、質問に答えたりしていました。学校での英語学習は子ども達の力になっていると思います。
- ・6年生全員が英検5級に受かるようにして欲しい。子ども達が英語を話すことって、とっても楽しいと思えるようにして欲しい。外国の子ども達と交流する機会をつくって欲しい。生の英語に触れる機会をたくさん作って欲しい。
- ・時間数もっと増やせないでしょうか？
- ・アメリカンスクールやインターナショナルスクールに通う外国の人（特に子どもたち同志）の交流がもっとあればいいなあと思います。
- ・基地内のフェスティバルに行ったとき、アメリカ人の店員さんを相手に自ら声を掛け、注文をしたり、質問に答えたりしていました。学校での英語学習は子ども達の力になっていると思います。
- ・自分たちの時代と違って発音がいいように思えます。沖縄県は英語の必要性が高いのでこのような取り組みはありがたいです。軍が近いのもっと交流できる機会があったらいいと思いました。